

福岡共同

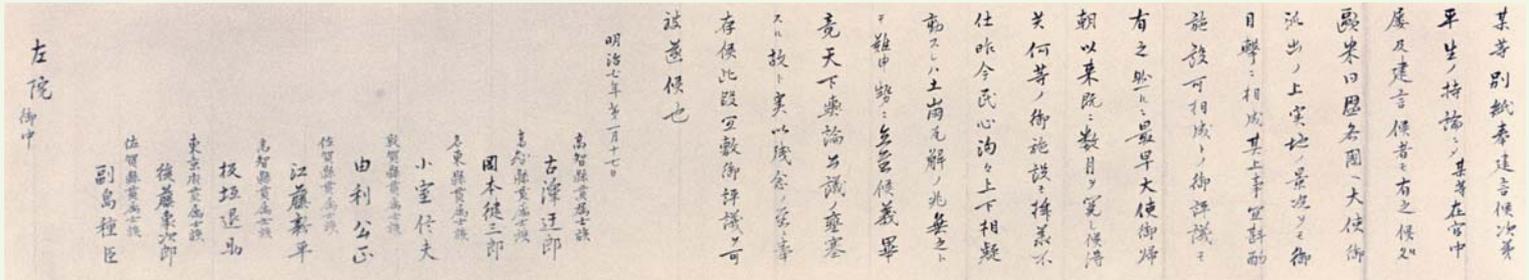
Fukuoka Communal Archives

公文書館だより

vol.11

平成29年8月

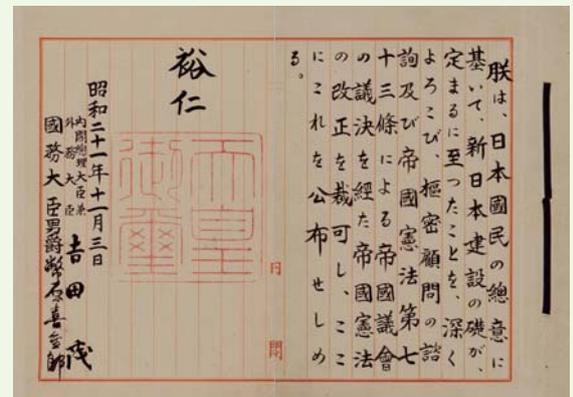
August 2017



▲〔民撰議院設立建白書〕(佐賀県士族副島種臣)(国立公文書館所蔵)



▲戦災概況図福岡(国立公文書館所蔵)



▲御署名原本 日本国憲法【複製】(国立公文書館所蔵)



▲明治9年 地租取調帳 村控(福岡共同公文書館所蔵)

TOPICS / 平成28年度 特別展「国立公文書館所蔵資料展
～公文書で再発見!近代日本と福岡のあゆみ～」…………… 2～4ページ

- 公開講座「はじめてのくずし字」…………… 5ページ
- 講演会「明治日本の近代化とローカルなネットワーク
～文書史料が語る官民の摩擦と協調～」…………… 5ページ
- 公開講座「和綴じ講座」…………… 6ページ
- 活動報告／市町村の選別支援を実施／選別会議実施状況…………… 7ページ

平成28年度 特別展

「国立公文書館所蔵資料展

公文書で再発見！近代日本と福岡のあゆみ」

平成29年2月21日(火)～3月19日(日)の約1ヶ月間、平成28年度特別展として、「国立公文書館所蔵資料展」公文書で再発見！近代日本と福岡のあゆみ」を開催しました。今回は、国立公文書館が所蔵する公文書のなかから、「大日本帝国憲法」や「民撰議院設立建白書」、「戦災概況図」など、日本の近代化や福岡県の歴史をもがたる文書の数々が福岡共同公文書館にやってきました。歴史の証人ともいえる国の公文書を、身近に見ることのできる貴重な機会となりました。また、福岡共同公文書館所蔵資料からは、時代とともに変化していった公文書の形態についての展示をしました。たつぷりと公文書の世界に触れることのできる展示になったと思います。

0 国立公文書館所蔵資料展とは

国立公文書館は、皇居のほど近く、東京都千代田区北の丸公園にあります。地上4階地下2階建ての

建物には、古典籍・古文書、江戸幕府の記録をも含む「内閣文庫」、国の行政機関から移管された重要な歴史公文書などが保存されています。国立公文書館では、特定歴史公文書等の利用促進を目的として、年1回、東京以外の各地方で館外展示事業を行っています。今回の「国立公文書館所蔵資料展」は、この事業の一環であり、九州における開催は、今回が初めてのことです。41点の貴重な資料が、福岡共同公文書館へやってきました。

この展示会では、「公文書で再発見！近代日本と福岡のあゆみ」というテーマのもと、幕末の戊辰戦争から、平成21年の公文書管理法の制定まで、明治・大正・昭和の各時代に起こった、国と福岡県に関する歴史的事件を次の20項目に分けてご紹介しました。

①戊辰戦争 ②福岡県の誕生 ③自由民権運動の始まり ④土族の反乱と西南戦争 ⑤大日本帝国憲法の制定 ⑥八幡製鉄所の開設 ⑦九州帝国大学の創立 ⑧大正デモクラシー ⑨鉄と石炭をめぐる昭和前期の動き ⑩宣戦の詔書 ⑪戦時下の福岡 ⑫終

戦の詔書 ⑬日本国憲法 ⑭農地改革 ⑮国際社会への復帰 ⑯「昭和の大合併」 ⑰高度成長の時代 ⑱東京オリンピックへ向けて ⑲沖縄返還 ⑳公文書を遣し伝える

展示した資料は、いずれも各省庁でそして国立公文書館で大切に保存されてきたもので、歴史の教科書でお目にかかったことのある、有名な文書もありました。また、3年後に迫った東京オリンピックがニュースなどに取り上げられるなか、53年前の東京オリンピックに関する文書の展示も、興味深いものでした。

次に、展示の一部をご紹介します。なお1～4に掲げた解説文は、展示パンフレットに掲載した国立公文書館による資料解説を引用しています。

1 「錦の御旗」の図(複製)

戊辰戦争

明治元年(1868)正月、鳥羽・伏見で新政府側と幕府側が武力衝突し、新政府軍が勝利しました(鳥羽・伏見の戦い)。このあと、同年4月の江戸城開城をはさみ、上野戦争、北越・東北戦争を経て、明治2年(1869)5月に箱館で榎本武揚らが敗れるまでの戦争を「戊辰戦争」と呼びます。左の資料は、戊辰戦争の際に新政府軍が用いた錦旗及び軍旗の精密な模写図です。明治21年(1888)5月から約2

てであることを知り、この調査の重要性とその迅速な調製の必要とを痛感した、と述べられています。今回の展示では、全国主要都市戦災概況図から、福岡県内8都市のものをご覧いただきました。



▲戦災概況図福岡(昭和20年)

5 福岡の公文書がたどった145年

「国立公文書館所蔵資料展」の一角で、福岡共同公文書館の公文書をご紹介しますコーナーを設けまし

た。今回は、時代とともに変遷していく公文書の「私たち」をテーマに、展示を行いました。

〈明治時代の公文書〉

福岡共同公文書館が所蔵する明治時代の公文書の大半は、議会文書と税務関係の文書です。地租改正で課税方法の統一がはかられ、市制・町村制によって地方自治制度の基盤が整備された、明治時代を象徴する文書群といえます。この頃の公文書は、墨書が主流ですが、活字印刷、コンニャク版、ガリ版など、近代的な印刷物も徐々に増えていきます。色やデザインに工夫がなされた町村ごとの野紙や、美しい彩色の絵図が付されていることもあり、意外とカラフルなことに驚かされます。

〈大正・昭和初期の公文書〉

鉄と石炭は、近代の福岡県を代表する産業です。この産業を下支えとして、北九州の町は明治後半から大正期にかけて次々と市制施行を行い、昭和期に入ると、筑豊の町も市制施行を実施しました。また、産業の発展とともにインフラの整備が進み、道路建設や鉄道敷設なども加速していきました。その後、日中戦争、太平洋戦争と相次いだ戦争は、公文書にもその痕跡を残しています。当時の福岡県の野紙には、欄外に「二枚の紙も皇国の宝なり」「即日即行 銃後の笑顔」「二人一人皇国を背負ひ長期戦」など、戦時下という時代を髣髴(ほうふつ)とさせるス

ローガンが印字されたものもあります。また、当時の公文書に使用された用紙は、質が悪いものが多く、現在では文字がかすれて読み取れなくなっているものもあります。

〈戦後の公文書〉

戦後70年間で、わたしたちの生活は劇的に変わりました。生活をとりまく環境の変化や、新しい技術の誕生により、公文書もまたその形を変えていきました。今では当たり前前の左横書き文書も、昭和35年(1960)4月に福岡県が実施する際には、その書き方、数字の表記の仕方などについて詳しい説明書が作成されました。

その後、ワープロやパソコンの普及により、手書きの文書は激減し、現在では、紙文書から電子文書へと移行する動きも見られます。その形がいかに変化しようとして、こうした公的な記録や文書は国民共有の財産として、正確に作成し、保存し、公開されていくべきであり、その重要性は広く認識されるようになっていきます。

開催期間中、二二〇六名の皆様にご観覧いただきました。ありがとうございました。

講演会・公開講座を 開催しました

1月21日(土)

「はじめてのくずし字」

講師 福岡共同公文書館相談員

荻野 寛美 氏
おぎの ひろみ

講座には55名が参加されました。

講師の荻野相談員は、当館で企画展の企画やレファレンス等を担当しています。

本講座では、くずし字学習の基礎となる仮名文字の読み方、くずし字辞典の使い方などを学びました。

講座終了後には、館内見学を実施し、選別室や文書保存庫など一般の方が立ち入ることができないバックヤードも見学していただきました。

今回の講座に参加された方からは、「あつという間の時間でした。こんなに集中してお話を聞きましたのは久しぶりでした。ありがとうございます」と、「楽しくてあつという間でした。以前別の所で講座に通ったけれど、とてもレベルが高

くて全く分からず困っていました。今日の講座は分かりやすかったです」などの感想が寄せられました。今後も、来館者に好評の公開講座を開催していきますので、ぜひ多くの方々に参加していただければ幸いです。



▲身近にあるくずし字・変体仮名を紹介

2月25日(土)

「明治日本の近代化と ローカルなネットワーク」

文書史料が語る官民の摩擦と協調

講師 福岡市博物館長

有馬 学 氏
ありま まなぶ

平成28年度特別展「国立公文書館所蔵資料展」公文書で再発見！近代日本と福岡のあゆみ」に関連して、講演会を開催しました。

講演では、明治日本の基礎を作った「地方の時代」や福岡県の実況について、企業家や政治家などの活動を紹介し、あわせて当時のネットワークの形成や展開について説明していただきました。

最後には、公文書の保存の重要性に加え、個人史料の保存の重要性についてお話されました。

参加者の方からは、「日本がどの様にして近代化していったのかがよく分かった」、「明治中期の日本を支える地方の重要性についてあまり知らなかったが、ネットワークという側面から見ると大切な時代だったと感じた」等の意見が寄せられました。

今後も、企画展に関連して様々な講演会を開催していきますので、ぜひ多くの方々にご参加いただければ幸いです。



▲会場には64名の方にお越しいただきました

大好評 「和綴じ講座」 を開催しました

平成29年3月4日(土)に公開講座「和綴じ講座」を開催しました。

本講座では、冊子の起源や和本の歴史等について講義を行った後、実際に「四つ目綴じ」の和本を作っていました。

参加者の方からは、「1冊自分で作れたことがとてもうれしかったです。昔の方がどのように本を作っていたのかも、知ることができて良かったです。」という感想や、「今日作って持ち帰った和綴じ本を眺めております。」というお便りが寄せられました。

当館では、今後も、来館者が気軽に参加できる公開講座を実施していきます。様々な催しを通して、公文書館を身近に感じていただければ幸いです。



①どの和紙を選ぶかワクワクします!



②表紙の裏に糊で見返しを貼付けます



③タタキと目打ちで穴をあけます



④針と糸で四つ目綴じをします



⑤世界に一つだけの和本が完成



⑥和本を手にみんなで記念撮影

活 動 報 告

平成29年

- 2月21日：平成28年度特別展「国立公文書館所蔵資料展～公文書で再発見！近代日本と福岡のあゆみ～」開催（～3/19）1,206名
- 2月25日：講演会「明治日本の近代化とローカルなネットワーク～文書史料が語る官民の摩擦と協調～」開催 64名（講師 福岡市博物館長 有馬 学氏）
- 3月 2日：平成28年度第3回運営専門協議会（県・組合合同開催）
- 3月 4日：公開講座「和綴じ講座」開催 20名（講師 福岡女子短期大学文化コミュニケーション学科 准教授 倉本 優子氏）
- 4月12日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 78名】 ●
- 4月19日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 84名】 ●
- 4月19日：府中市議会市民フォーラム【視察 5名】
- 4月26日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 90名】 ●
- 5月 9日：筑紫野市高年クラブ【見学 31名】
- 5月10日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 87名】 ●
- 5月12日：久留米大学【見学 42名】
- 5月17日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 85名】 ●
- 5月19日：市町村文書事務担当者説明会
- 5月23日：二日市東高年クラブ【出前講座 46名】
- 5月24日：福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 76名】 ●
- 5月26日：平成29年度福岡共同公文書館運営会議
- 5月28日：春日市郷土史研究会【見学 6名】
- 6月 2日：記録管理学会【視察 29名】 ●



▲市町村新規採用職員研修
新規採用職員研修の一環として計500名が公文書館を訪れ、公文書館の役割や業務内容について学びました。



▲記録管理学会
当館職員が本館の概要を説明し、全国初の県と市町村による共同設置・運営の状況やメリット等を説明した後、選別室や文書保存庫、展示室などを見学していただきました。

市町村の選別支援を行っています

公文書館では、歴史公文書の移管促進のため、市町村に対して様々な支援を行っています。

職員説明会：公文書館職員が市町村に出向き、歴史公文書の重要性や選別方法を知っていただく説明会を開催しています。

目録選別：公文書リストの中から歴史公文書の候補を選び出します。

現地選別：実際に公文書を見て、歴史公文書を選び出します。

※写真は、現地選別の様子です。公文書館職員が各市町村に出向き、公文書の内容を1冊ずつ確認して、歴史公文書に当たるかを判断します。



選別会議実施状況

選別会議・・・自治体から1次選別を経て搬入された公文書について、評価選別基準により2次選別を行います。
2次選別の結果、当館へ移管しないこととなった公文書については、原則として、搬入元の自治体に返却します。

添田町	久留米市	宗像市	鞍手町	志免町
大川市	うきは市	みやこ町	飯塚市	古賀市
筑前町	糸島市	那珂川町	広川町	

▲平成29年2月から平成29年6月までの分

会議室・研修室を利用できます。

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています(要事前申込み)。施設の使用料金は下記をご参照ください。

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動などにご利用いただけます
- 研修室は、音響・映像システムを備え90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます(駐車スペースが豊富です)
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります



▲福岡共同公文書館
キャラクター「しよこら」

施設使用料金

	収容人数	面積	金額(1時間につき)
会議室	16名	58㎡	390円
研修室	90名	171㎡	1,150円

複写サービス

白黒	1枚 10円
カラー	1枚 30円
マイクロフィルムからの印刷	1枚 10円

公文書館を見学しませんか?

公文書館がどのような所なのか分からないという声を聞きます。

そこで、当館を身近に感じていただきたく、館内見学会を実施しています。少人数での見学も歓迎します。

また、学校の社会科見学や総合学習、コミュニティ活動などの一環としても施設見学(要事前申込み)を受け入れていますので、お気軽にお問い合わせください。



交通アクセス

- JR二日市駅より徒歩約13分または西鉄バス警察署前バス停より徒歩約1分
- 西鉄二日市駅より下車、西鉄バス警察署前バス停より徒歩約1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より車で約5分

福岡共同公文書館

〒818-0041

福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

お問い合わせ: 092-919-6166

Mail: kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

ホームページ: <http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/>



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。

